

水俣病、海を渡る

水銀汚染のメカジキで

アメリカでも発生

世界的に水銀汚染が問題になっているが、アメリカでも「水俣病」が発生していたことが二十日わかった。

【ワシントン二十日共同】米国ドマン博士は、これ以外にもかくで初の水銀汚染食品の犠牲者が出たことが二十日明らかになった。これはニューヨーク州公衆衛生局のハードマン博士が同日、上院商

業委員会議域問題分科委員会の公

当然、考えられていた

聴会での証言で報告した。この犠牲者は四十四歳の三児の母親で、体重を減らす食事療法のため、六四年から昨年十一月まで、一日最長約三百五十ポンドのメカジキを食べ続けてきたという。水俣病の場合も、患者はすべて水俣病の魚介類を長期的に多量に摂取した人で、解大第二病理学教室の武内忠男教授は、「水俣病は別に日本的な病気ではなく、当然外国にも誘われるわけで、恐れ

〈食品医薬品局〉

FDA規

制強化へ

この女性は大八年ごろから、か

らたのふるえ、しびれ、平衡感覚のまひ、記憶のう失、言語障害などの自覚症状が出てきたため、診察を受けた。最初は神経系統の病気が診断されたが、ことし三月の精確検査でまさにも水銀中毒との結論が出た。

ハードマン博士によれば、彼女の血液からは安全基準0.2PPMの三倍、頭髮からは正常水準3PPMをはるかに上回る四二PPMの水銀が検出された。

ただしFDA(食品医薬品局)

すでにFDAは水銀汚染度の高いマグロかん詰め

が昨年十二月、マグロかん詰めとメカジキの水銀汚染に警告を出して以来メカジキを食べるのをやめたため、病状は改善しており、生命の危険はないと報告している。米国では肥満を防ぎ、やせるため肉の代わりにマグロやメカジキを食べる老人、婦人が多く、ハ

措置を検討する方針である。